

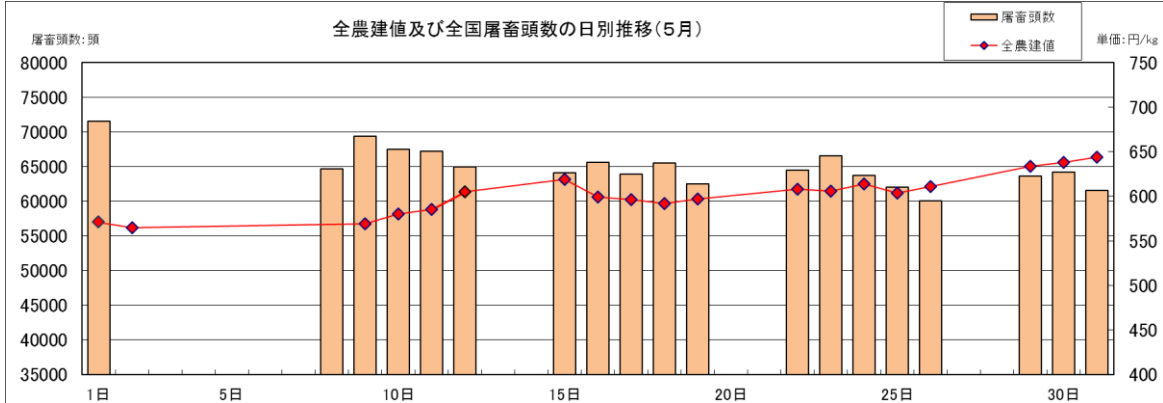
肉豚インフォメーション（5月）

●5月の動向

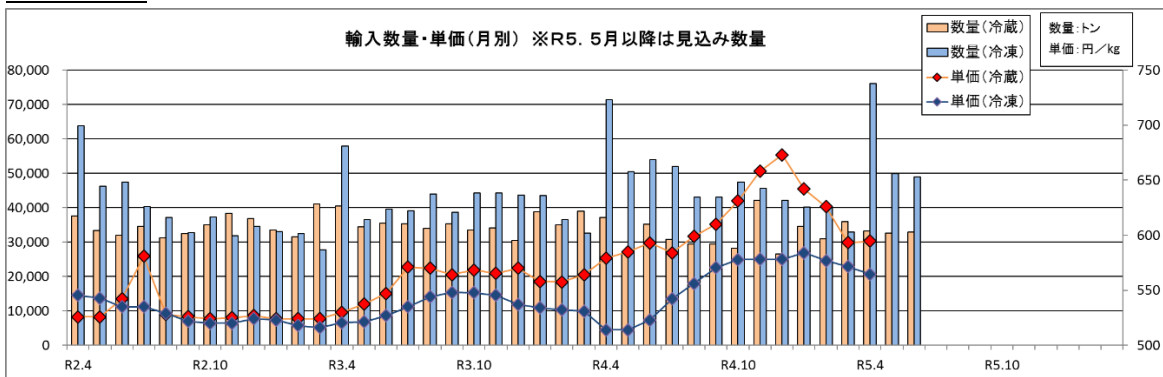
2023年5月（税抜）	2022年5月（税抜）
602円/kg（13円高）	589円/kg

※全農建値

5月は、連休明けの手当て買いや中旬以降の出荷頭数の減少に伴い相場は堅調に推移した。

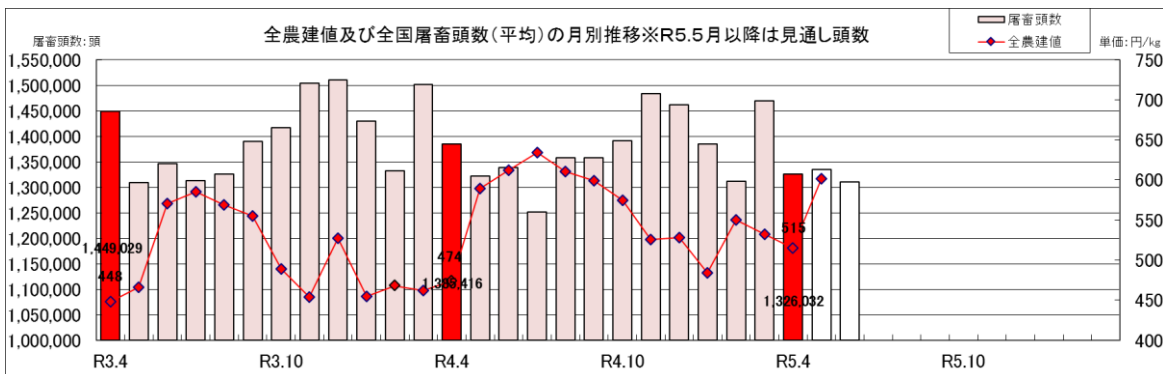


●輸入動向



●6月の動向

6月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



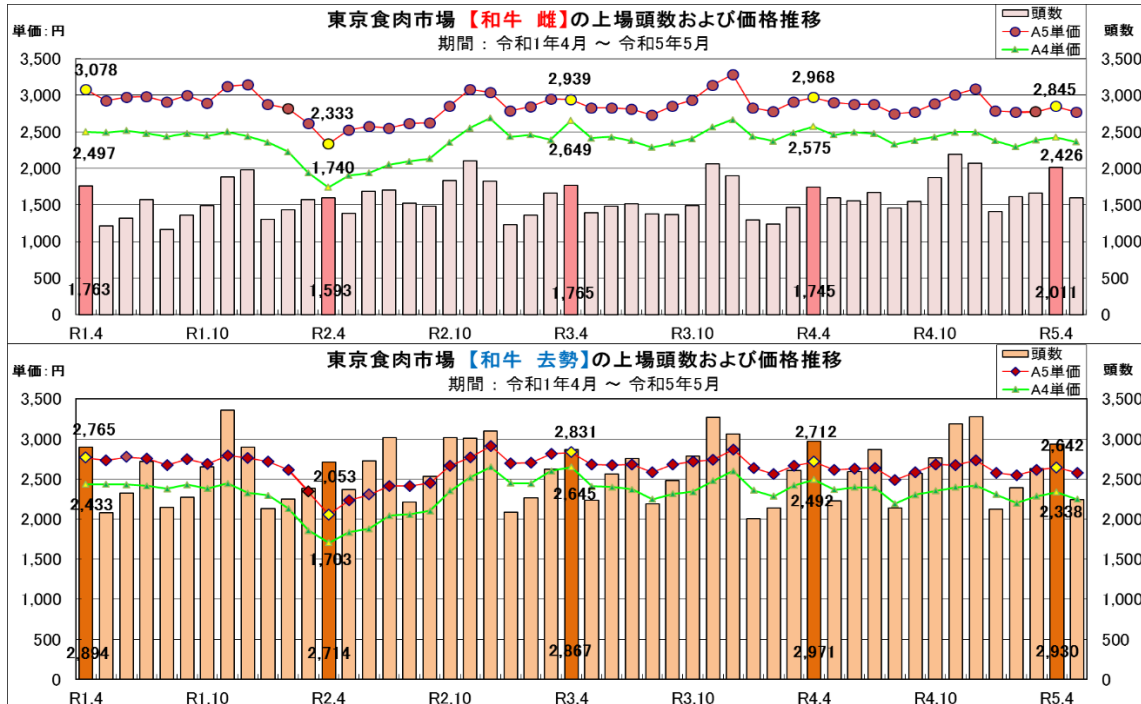
6月の相場は、堅調に推移すると予想される。

全農建値（税抜）予測レンジは640円～740円とする。

肉牛インフォメーション（5月）

● 5月の動向

連休明け直後は補充買いで相場は強含みとなったが、それ以降は末端需要の低迷から全体的に下げ基調となった。



● 6月の動向予測

東京市場の上場は6,900頭を予定している。末端需要の停滞が継続することから、今後の相場も緩むと見込む。

6月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

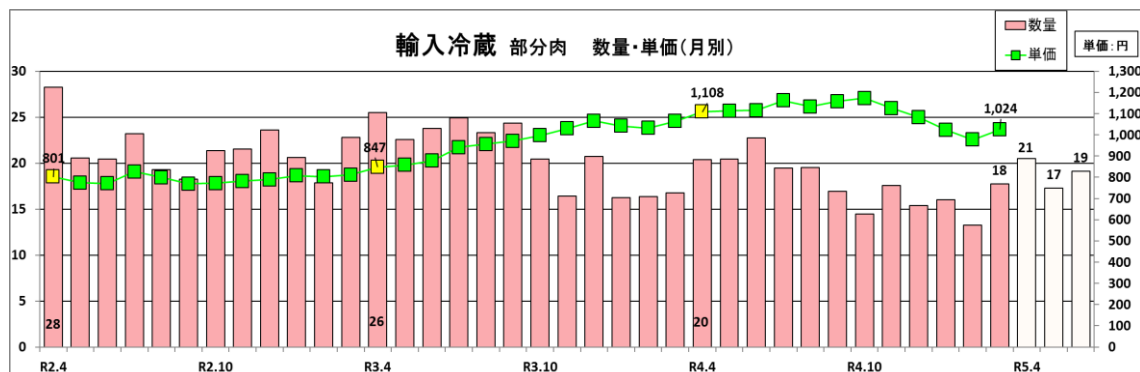
和牛去勢 A5等級 2,500円（税込み） A4等級 2,300円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,600円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、需要の低迷や現地価格の高騰により豪州産及び米国産輸入量が少ないこと等から5月はかなり大きく、6月は大幅に、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3ヶ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

（ALIC牛肉の需給予測について5月29日）



食肉インフォメーション (5月)

●消費動向

○牛肉

5月はGWでのBBQ・行楽需要から、肩ロース・バラ等の焼き材や切落とし用のモモが活発な荷動きとなった。6月は不需要期と値上げラッシュが重なることから、安価なスソ物中心の動きとなる見込み。

○豚肉

5月はGWが天候に恵まれたことで末端消費は大きく、焼肉用のバラや冷しゃぶ用のロース等が動きを見せた。6月は連休明けの出費疲れと節約志向の高まりから、安価なウデ・モモに需要がシフトすると見られる。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年4月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度4月	13,863	14,375	6,743	25,681	13,870	11,951	10,042	96,525
令和4年度4月	12,906	14,916	7,309	28,603	14,386	9,468	7,890	95,478
令和5年度4月	13,129	13,979	5,267	28,162	18,437	8,484	6,206	93,664
増減 (R4-R3)	223	-937	-2,042	-441	4,051	-984	-1,684	-1,814
対比 (R2/R4)	95%	97%	78%	110%	133%	71%	62%	97%
対比 (R3/R4)	102%	94%	72%	98%	128%	90%	79%	98%